



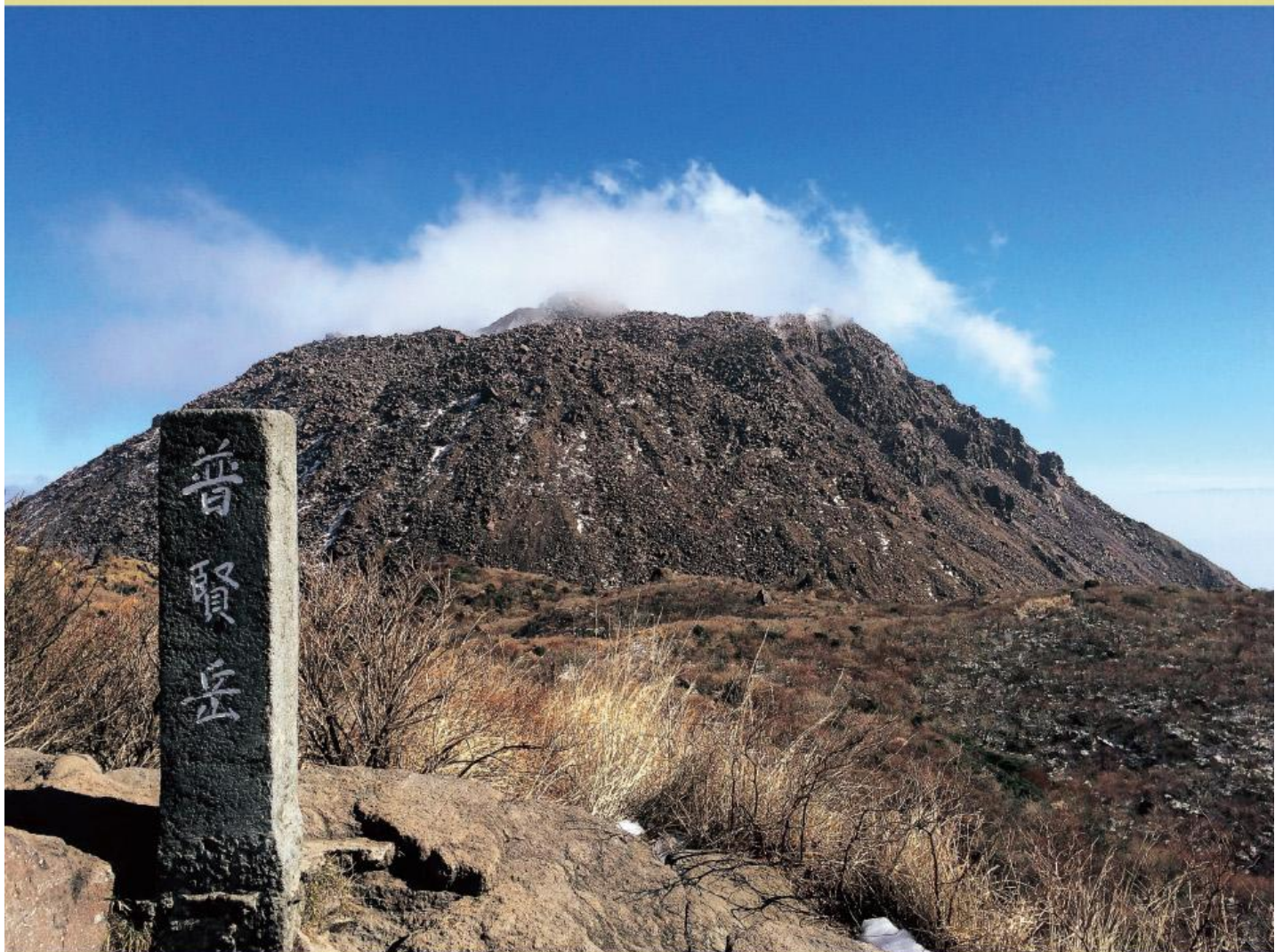
# 新星

Shinsei  
2018 Vol.28

2018年11月15日 発行

医療法人 厚生会 道ノ尾病院「新星」Shinsei編集部  
〒852-8055 長崎市虹が丘町1番1号  
TEL 095-856-1111 FAX 095-856-4755

題字：松本 青美子



## CONTENTS

- 2 新しい外科医の紹介／病棟紹介⑩
- 3 タンザニアから留学生が見学
- 4 第54回 公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第17回 日本精神保健福祉士学会学術大会
- 5 3つの家族教室のご案内
- 6 長崎県看護協会「発達障害の理解と対応」に参加して
- 7 デイケアの一泊研修旅行
- 8 文化祭を終えて

## 基本理念 患者第一主義

### 基本方針

- 挨拶と笑顔をもって皆様（患者・家族）に接します
- 疾病や治療に対して十分な説明と同意に基づき、患者本位の医療を提供します
- 患者の権利を認識し、尊重します
- 地域における責務を認識し、開かれた病院を目指します
- 職員研修を行い、常に研鑽に努めます
- 健全な病院経営に努めます
- 患者の社会復帰に努めます



## 新任のご挨拶

外科医 赤間 史隆



はじめまして。今年の4月から道ノ尾病院に勤務させていただきます赤間史隆と申します。当院では入院中の患者様の身体的管理を中心に医療をさせていただきますいております。

自己紹介をさせていただきます。約30年前に、長崎大学医学部第一外科に入局し、一般外科、特に消化器外科医として三菱病院、済生会病院、原爆病院、佐世保市立総合病院などの関連病院での修練を経て、2010年からは虹が丘病院に勤務しておりました。この頃より、時々、道ノ尾病院の患者様の診療をさせていただきますおりました。胃や腸からの出血により極度の貧血となったり、腸閉塞になって紹介されてくる患者さんもおられ、どうにかもっと早い段階で治療を行えないものかと考えておりました。こちらに赴任して何かと不慣れな点はございますが、今までの経験を生かして、地域医療と当院での患者様の診療に貢献できればと考えております。どうぞよろしくお申し上げます。

## 連載11回目 B-2病棟のご紹介です

# 部署紹介コーナー

### 部署の特徴

身体合併症治療病棟です。

「安全な医療、看護の提供」を目標として取り組んでいます。

認知症患者さんの入院が急増していることもあり、毎日が多忙ですが、楽しく業務を遂行しています。



### スタッフ紹介

看護師長：1名      看護主任：2名  
看護スタッフ：24名      看護助手：7名  
介護福祉士：3名

### ○スタッフの資格

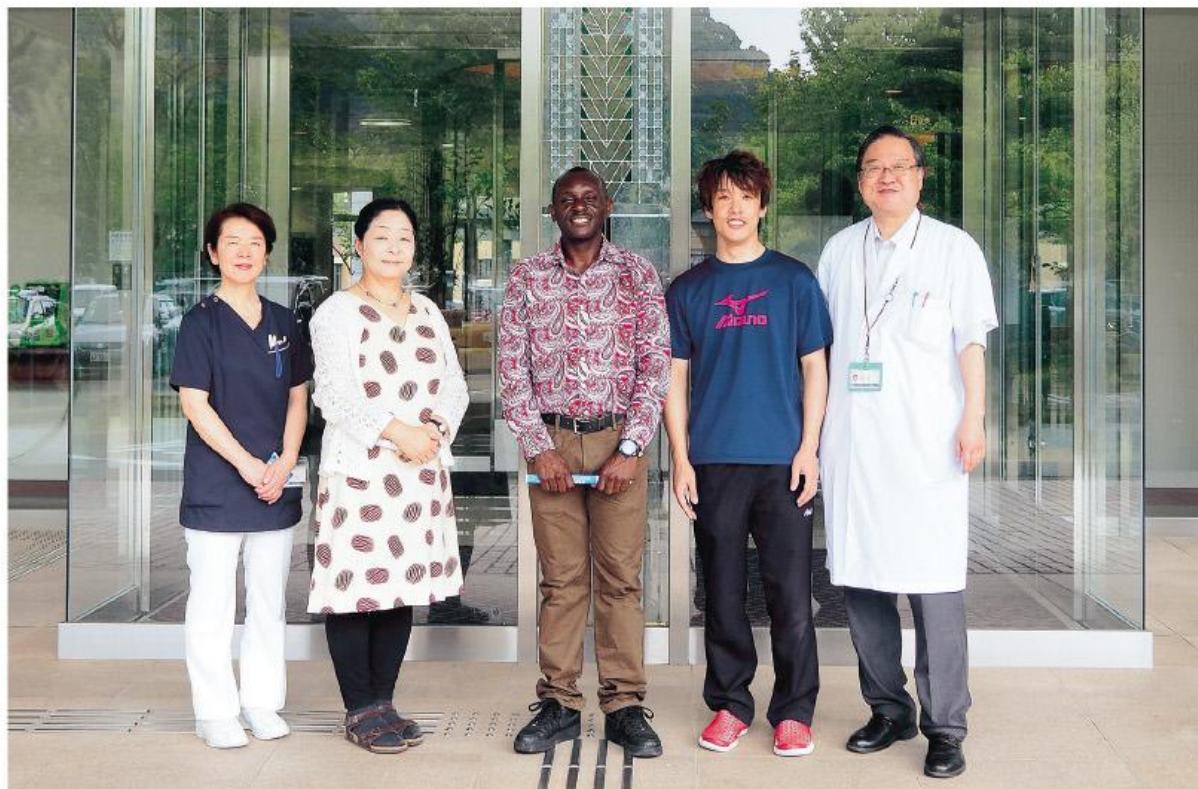
SST初級認定、SST中級認定、介護支援専門員、社会福祉主事、福祉住環境コーディネーター3級、スポーツインストラクター、簿記1級、英検2級、数検2級、電タク2級、ワープロ2級、洋裁1級、書道8級、美容師、管理美容、テコンドー9級、クレーン技師、養護教諭など

### ○部署の研究・業績

- 2014年 「認知症患者の睡眠障害に対する光療法の効果」 (看護師 相川)
- 2015年 「睡眠障害のある認知症患者に対するアロマ療法の効果」 (看護師 田中)
- 2016年 「水分高含有粘度調整流動食の臨床的有用性の検討」 (看護師 荒木)
- 2017年 「当院における腰痛罹患率の疫学調査」  
～骨粗鬆症における腰痛の年代別、職業別の比較～ (看護師 平)
- 2018年 2018年「病棟における認知症ケアにつなげる取り組み」  
～認知症に関する知識を深め認知症患者に寄り添うケアへ～ (看護師 川根)



## タンザニアから留学生が見学に来られました



8月6日（月）13：00～16：00、タンザニアからの留学生、ジョエルさんが道ノ尾病院を中心に見学されました。ジョエルさんは42歳の男性。国費による留学で約7日間、長崎大病院に留学されています。英語もペラペラで発音も正確で話し易かったです。もちろん通訳として長崎大学看護科の大西先生（女性）が同行されましたので、安心していました。

ジョエルさんは国立医療センターの精神科看護師であり、精神科の見学を強く希望していて、今回の見学を楽しんでおり、とても参考になったとのことでした。

タンザニアはアフリカの小さな国で、まだ貧困も多くあります。精神科の薬を自国では作れないので、海外から高い薬を買わないといけません。十分な薬がないこと、民間病院も殆どなく、精神科病棟とはいっても隔離室もなく、興

奮する患者を力すくで抑えつけるなど、不十分な医療体制のようです。日本はあらゆる分野の薬が大量にあります。一方で長期入院もあり、ベット削減が欧米より進んでいない現状も討論しました。

その上で、薬の有無だけでなく、精神科治療の基本となる、患者さんとの会話とレクリエーション、作業療法、就労支援などのきめ細やかな配慮のあるデイケアや就労支援に深く感銘を受けたとのことでした。

見学には片岡副看護部長、デイケア深松師長、ふれあいの岳野施設長などが丁寧な説明をされ、和やかな雰囲気でした。

以前のハワイの大学生の時もそうでしたが、道ノ尾病院が海外にも開かれた病院である証明が出来たと思います。

ありがとうございました。



## 第54回 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会全国大会

## 第17回 日本精神保健福祉士学会学術大会に参加してきました

2018年9月14日(金)・15日(土)

長崎ブリックホール

長崎新聞文化ホール

精神保健福祉士 (PSW・ソーシャルワーカー) の全国大会・学会が初めて長崎県で開催されました。

当院からも実行委員、ボランティア、演題発表などの形で参加をしました。



参加した当院のPSW (OBも一緒に)

### 各分科会の様子



### 参加者として…

PSWは、繋がりのなかに活かされている職種だと感じた。今後も、こういった機会を通じて新発見・再発見をしていきたいです。



福祉事業所の製品を手取るPSW

### ボランティアとして…

お客様を「おもてなし」する立場で、発表者に滞りなく発表していただけるよう努めました。長崎県初の全国大会で緊張感があり、運営委員の皆様がおもてなしを大切する想いを端々に感じることができました。

運営委員として、「プレ企画・分科会」に携わり非常にいい経験になりました。開催当日まで不安はありましたが、終わってみるとあっという間でした。今後も、この貴重な経験を生かし、協会での活動や病院での研修会運営で貢献できたらと思います。



演題発表したPSW

委員会5年間の実践を学会で発表できたことで、課題整理や今後の目標も見えてきたように思います。PSWが行動制限に実践的に関与していること、実践内容にも大きな評価を頂きました。



実行委員のお二人は、この2日間のために1年間頑張りました。



# 道ノ尾病院の家族教室のご案内をします

家族教室とは… ご家族に病気や障害の必要な知識や情報を知ってもらい、どう問題に対処するか協働し考え、問題に対して何とかやっていけるという気持ちを回復する支援法のひとつです。

第1  
土曜日

## アルコール依存症 家族教室

アルコール依存症は、本人のみならず周囲の方々へも大きな影響を及ぼす疾患です。

当院では、そんなご家族や周囲の方への支援もアルコール依存症の治療の大切な要素だと考え、アルコール・リハビリテーション・プログラム(ARP)の導入当初より『アルコール家族教室』を開催しています。依存症は、治療により回復が十分期待できる病気です。

同じ立場の家族やスタッフと共に依存症についての知識を深め、家族治療プログラム「CRAFT」の要素を学ぶことを通して、これからのことをみんな考えていきたいと思えます。

時間…13:30~15:00

対象…依存症者のご家族(当院受診の有無を問いません)

予約…不要です。直接会場へお越しください。

料金…無料です。(テキストをご紹介しますことはありません)

「ここで話されたことはここだけに」の原則のもと、安心してご参加いただけます。

アルコール治療の専門研修を受けたスタッフが担当しています。(ご希望があれば、後日ご家族の個別のご相談をお受けすることもできます)

〈問い合わせ窓口〉  
アルコール担当スタッフ

第2  
土曜日



## 統合失調症家族教室 「ココロ」

- 本人への接し方が分からない
  - 病気を知らない人には相談しにくい
  - 病気のこと、薬のことについてもっと知りたい
- こういったご家族からの声がよく聞かれます。

『ココロ』は、1年を前期・後期に分け、様々な職種の方から講義していただく講話の回とグループワーク・茶話会の回があり、毎回多くのご家族にご参加いただいております。中には開催当初からご参加いただいているご家族もおられます。

ご家族のお話を伺いながら、一緒に考えていきたいと思っております。どうぞお気軽にご参加下さい。

時間:14:00~15:30

※ 祝・祭日はお休みです

今後のスケジュール:

10月 栄養士講話「食べても太らない食事とは?」

12月 看護師講話「精神科看護について」

1月 相談支援専門員講話「相談支援事業所から」

その他の月はグループワーク・茶話会を開催します

〈問い合わせ窓口〉  
「ココロ」担当スタッフ  
作業療法士:小林  
臨床心理士:疋田  
病棟看護師:犬塚・川上  
精神保健福祉士:彼崎・塚本

第3  
土曜日



## 認知症家族教室 「にじのみち」

H25年5月にスタートした認知症家族教室『にじのみち』は認知症のある方の介護をしているご家族の皆さんがつどい、スタッフとともに認知症について学び、語りあう会です。日頃の介護で困っていること等を相談することもできます。

「にじのみち」では看護師、介護福祉士、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士、歯科衛生士と様々な職種で運営しており、認知症に関する講義やご家族同士の情報交換ができる交流会を設けています。参加者からは「勉強になり日々の介護に生かせます」「毎月ここに来るのが楽しみです」という感想をいただき、今後も皆さんの日々の介護にお役立てできる内容を企画したいと考えています。

認知症のある方の介護をはじめて間もない方、これまで介護をされてきた方、どなたでもご参加いただけます。

\*対象者: 当院に入院または通院している認知症のある方のご家族

\*時間: 14:00~15:30

お気軽にお問い合わせ下さい。



〈問い合わせ窓口〉  
精神保健福祉士 土井  
作業療法士 吉崎

会場は、さくら棟1階会議室(ATMの横)です。参加費は無料です。





# 発達障害の理解と対応



## 長崎県看護協会「発達障害の理解と対応」に参加して

講師長崎県精神医療センター、精神看護専門看護師 村島正俊先生

午前中はパワーポイントスライドを使用した座学、午後は発達障害に対する対応の座学とグループワークに参加しました。

午前中の座学で発達障害に関する知識について復習ができました。発達障害は「精神疾患の診断・統計マニュアル：アメリカ精神医学会版（2013）」（DMS-5）で定義されています。私は、これまでの研修で注意欠陥多動性障害（ADHD）、広汎性発達障害（PDD）、学習障害（LD）を中心に学んでいました。今回は、学習障害と知的障害を分類する難しさを感じました。

治療薬に関しては、今回の研修で「インチュニブ」というADHDに対する新薬について知りました。コンサータ、ストラテラは前シナプスのドパミン系、ノルアドレナリン系に作用し、インチュニブは後にシナプスの受容体に作用するとのこと

です。実際の使用例については自身でも学んでいきたいと思えます。

グループワークの内容は「実際に職場でケアをするケース」と「職場にいる発達障害の傾向がある職員に対する指導法や対応」の二つがあり、職員に対するケースのワークに参加しました。看護協会の研修で、精神科病院からの参加が多いと思っていましたが、実際は、一般病院の看護師が半数以上参加され、それだけ発達障害が注目されているのだと支援の必要性を感じました。

ワークの中で実際の事例を聞くことができました。「誤薬や物品忘れ、重複といった不注意行動」がある職員の殆どは自覚がない。その場合の指導はとて難しく、特性を周囲が理解しても本人が理解できていないために、指導内容が結びつ

かない現状がある。また、自覚がないために本人へ受診を勧めると親からのクレームがくることもあり対応に困るケースが多いという課題を学びました。地域には、病院職員関係だけでもこれだけのADHD傾向がある人がいるのであれば、他職場なども考えると多数のADHDを持った人が潜在的にいるのだと考えられます。それらの人たちが病院受診へ繋がらない理由のひとつは、自分の障害に気づくことなく過ごしているのではないかと私は考えました。

今回、座学での知識以外にも職場の現状など多くの情報を得ることができました。今後の看護実践やADHD専門外来、デイケアプログラムの業務で、研修で得た情報を活かし共有していきたいと思えます。

看護師 町田 翼



## デイケア 一泊研修旅行

毎年、メンバーの交流や生活向上を目的に旅行を企画しております。  
今年も、初めての試みで目的地を2か所に設け、選択いただく形で旅行を開催しました。

### 嬉野旅行 (9/6~9/7)

長崎から近い場所ですが、今回デイケアより嬉野に行くのは初めてでした。1日目は、ホテル到着後、時間に余裕もあり、ゆっくりと温泉を楽しむ方や地域散策に向かわれる方、お部屋で過ごす方など、各々ゆっくりとした時間を過ごされていました。夕方からは宴会を行い、料理を楽しみながらカラオケなど、大いに盛り上がりました。翌日は、朝食に温泉豆腐が出て、嬉野の味を堪能しました。

2日目は、あいにくの雨でしたが、祐徳稲荷神社へ。「初めてこんな大きな神社を見た。」など声が上がっていました。その後は、肥前浜宿へ。古い街並みや酒蔵見学を行いました。

近場ということもあり、ゆっくりとした旅行ができたとの感想をいただいております。



### 別府旅行 (9/13~9/14)

大分への長旅はデイケアでの初めての試みで心配もありましたが、参加したメンバーさんは行く前より大変楽しみにされていました。

1日目は、ホテル到着後、別府の温泉を楽しみ、夕方には宴会で別府の味を堪能しました。

2日目は朝から温泉を楽しみ、朝食はバイキング。さまざまな味を楽しむことができ「おいしかった。」との声が上がっていました。その後、観光へ出かけ別府の地獄めぐりをしました。血の池地獄・海地獄、かまど地獄・竜巻地獄さまざまな地獄を目にして驚いているメンバーさんもいました。たくさんの方々の笑顔が見られ、携帯で写真などを熱心に撮られたりして楽しまれていました。

今回の旅行は距離が遠かったものの、「また、来年も旅行へ行きたい。」や具体的に「次は熊本へ行きたい。」など積極的な意見も聞かれ、メンバーさんが今後も生活を楽しんでいきたいとの意欲へ繋がったのではないかと思います。また、2つの旅行とともに普段、交流がないメンバーさん同士の交流も見られて、とても有意義な旅行となりました。

このように季節に応じた企画を行っています。是非、ご興味をお持ちになられた方は、主治医と相談の上、デイケアまでお問い合わせください。





「第一回 道ノ尾病院 文化祭」



桜の木の下には出店が並び、心地よい風に秋を感じながら、みなさんパンや唐揚げ、石焼き芋などの買い物を楽しまれていました。道ノ尾ホールではのど自慢大会、魚釣りゲームといった趣向を凝らしたアトラクションが繰り広げられ、大盛況でした。また、会場内には書道・陶芸・手芸・塗り絵・華道など数々の作品が展示され、部門ごとの最優秀者と、のど自慢大会の最優秀者には表彰状が贈られました。初の試みでありましたが、大変賑やかな催しとなりました。



道ノ尾病院は V・ファーレン長崎を応援しています

©2010 VVN



医療法人厚生会

- 道ノ尾病院 ○虹が丘病院
- 宿泊型自立訓練事業所 ふれあい
- 就労継続支援B型・就労移行 ワークステーションかいこう
- 訪問看護ステーション すみ香
- ヘルパーステーション にじいろ
- 相談支援事業所 にじいろ ○居宅支援事業所 にじいろ
- みちのおメンタルクリニック ○れいんぼうハウス滑石

社会福祉法人新生活

- 特別養護老人ホーム 望星荘
- 障害者支援施設 虹が丘学園

【医療法人厚生会 道ノ尾病院ホームページ】

<http://www.michinoo.or.jp>

道ノ尾病院

検索



モバイルの方



スマートフォンの方

パソコン・スマートフォン向け

道ノ尾病院 新着情報通知のお知らせ

道ノ尾病院HP上に出るポップアップを通知許可していただくこと以降、新着更新情報をプッシュ通知で受け取ることが出来ます！

パソコンやアンドロイド端末はアプリ不要で直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。

※iOS端末 (iPhone・iPad) は「みんなのお知らせ」アプリをインストールし、お知らせ通知を許可するだけで以降、直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。



通知許可ボタン表示